

高松市内において、農作物の被害や生活環境被害を発生させている鳥獣の特徴などを説明します。

イノシシ（ウシ目イノシシ科）



食性

①雑食性で人間が食べるようなものはすべて食べます。②農作物のほか、昆虫やミミズやネズミなどの小動物もエサとしています。

行動

①本来は昼に行動する動物ですが、人に見撃されない夜間に活発に行動します。②行動範囲は数kmから十数kmに及ぶ場合があります。③落葉広葉樹林や茂み、耕作放棄地や竹林など食料が豊富にあり、身を潜められる場所を好みます。④高い学習能力を持っていますが、臆病で通りなれた「けもの道」を往復して行動します。⑤ジャンプ力があり、垂直に1.2mの高さを飛び越え、20cmの隙間もくぐり抜けます。⑥鼻の押し上げる力によって70kgの石を簡単に動かすことができます。

繁殖

①交尾は12～2月頃の（年1回）で出産期は4～6月頃です。②普通4～5頭出産し、子どもに見られる縞は生後半年程度でなくなり、一年半程度で繁殖が可能となります。③寿命は野生で6～10年程度と考えられている。

特徴

①本来警戒心が強く、臆病な性格ですが、市街地に出没したときなどは、パニックとなり、人を攻撃する場合があります。

対策

【市街地で遭遇したときの正しい対処方法】

「あわてず」、「騒がず」、「ゆっくり」とその場を離れてください。安全な場所に避難した後に「警察110番」又は「高松市農林水産課 839-2422」まで御連絡をお願いします。

【農作物をイノシシから守るポイント】

① 隠れ場所をなくしましょう！

家や田畑のまわりに見通しのよい場所（ストッブゾーン）を整備しましょう。

② エサ場をなくしましょう！

収穫しないままの果実や野菜クズなどを田畑に捨てそのまま放っておくと格好のエサ場となります。



市・猟友会・警察による捕獲活動



ワイヤーメッシュ柵と電気柵による防護



サルによる農作物被害



地域ぐるみで防護柵の設置

③ 防護柵で守る！

田畑を正しくワイヤーメッシュ柵や電気柵を設置することで、イノシシの侵入を防ぐことができます。

※イノシシから農作物を守るため、ワイヤーメッシュ柵や電気柵を設置する場合、購入に係る経費の一部を助成します。

※詳しくは、最寄りの JA で御相談ください。

ニホンザル（サル目オナガザル科）

食性

●雑食性で、植物性のものを食べ果実なども食べます。

行動

①早朝と夕方に採食のピークを迎え、日の出から日没までの明るい時間だけ活発に活動し、夜間は活動しません。②群れによる集団で行動し、決まった行動範囲の中で周期的に行動します。③群れはメスと子どもを中心に構成され、十数頭から百頭を超える群れもあります。④オスは大人になると群れを離れて単独（ハナレザル）で行動したり、他の群れに移ったりします。⑤高い学習能力を持っています。

繁殖

①交尾期は年1回で秋から冬、出産期は春から夏です。②エサが豊富にあると年に1頭ずつ出産し、寿命は約25年です。

特徴

①視覚・聴覚等は人間とほぼ同じです。②記憶力が抜群で、一度味わった恐怖体験は忘れません。

対策

【被害防止のためのポイント】

①エサになるものを放置しない！

家や軒先や屋外に生ごみや野菜クズなどを放置すると格好のエサとなります。

②地域ぐるみで「追い払い」をしましょう！

集落に侵入したところを脅かされるなど、怖い目にあうと、その集落を避けるようになると言われています。

集落全体で根気よく、打ち上げ花火などを用いての追い払いを継続しましょう。

③電気柵の設置で守る！

サルに効果的な柵は電気柵です。電気ショックを与えることで侵入を防ぐことができます。

※毎年、夏になって「ハナレザル」の出没情報が相次



ニホンジカ（オス）



ニホンジカ（オス）



いでいます。

「ハナレザル」は、群れを離れて独り立ちしたばかりの4～5歳の若いニホンザルのオスです。

「ハナレザル」はどんなところでも出没します。

市街地には、庭の果樹や家庭菜園が多く、サルにとって棲みにくい環境ではありません。「ハナレザル」を見つけて、そのまま放っておくと、居着いて住み良い場所であると勘違いしてしまいますので、見つけたら必ず追い払いましょう。

※【ハナレザル】を見かけたら、高松市農林水産課 839-2422 まで御連絡をお願いします。

ニホンジカ（ウシ目シカ科）

食性

①草食性で草類や木の葉、果実などを食べます。②冬期には、草刈しをした道路わきやあぜなどに芽吹いた緑草を好んで食べます。

行動

①1.6m以上の高さを超えるほどのジャンプ力を持っています。②通常オスとメスは別々の群れをつくって行動します。

繁殖

①交尾期は年1回で、9～11月頃、出産期は5～6月頃です。②満2歳で初産を迎え、以降毎年1頭出産します。③寿命は10～12歳程度です。

特徴

①警戒心が強く、昼間は森林内にいて、田畑には夜間に出没することが多くなります。②嗅覚が発達し匂いで危険を察知します。

対策

【被害防止のためのポイント】

防護柵で守る！

防護柵または電気柵を設置する場合、運動能力から高さ2m程度の柵または電気柵を設置し、侵入を防ぎましょう。

アライグマ（ネコ目アライグマ科）

食性

●魚類、小型哺乳類、鳥類、両生類など、なんでも食べる雑食性です。

行動

①夜行性で、日中は高い樹上や家屋の屋根裏などのねぐらで休みます。②5本の指で爪を立て、木や柱、壁をのぼるのが非常に得意です。③小川や用水、側溝などを歩いて行動します。



繁殖

成長が早く、1歳になるとメスは繁殖できます。春に3頭から6頭の子を産みます。

対策

【被害防止のためのポイント】

①エサを与えない！

見た目は可愛いからと言って、絶対にエサは与えないでください。

田畑などに野菜クズなどを放置したり、収穫しないままの果実がないようにしましょう。

②ねぐらを作らせない！

家屋等でアライグマの侵入口になりそうなところを塞いで、侵入できないようにしましょう。

③積極的な捕獲！

繁殖力が強いので、個体数を減らす必要があり、積極的に捕獲しましょう。

※捕獲には狩猟免許取得等が必要です。

※屋根裏や床下などで住みついている場合は、捕獲の専門業者に依頼してください。

ハクビシン（ネコ目ジャコウネコ科）

食性

●果実食中心の雑食性で、果実の他に昆虫類等を食べます。

行動

●夜行性で、昼間はタヌキなどが掘った巣穴を利用し、夜になると里山や人家の周辺に出没します。

繁殖

①年間を通じて出産します。②妊娠期間はおよそ2ヶ月ほどで、1度におよそ1~4頭出産します。

特徴

①鼻部から頭頂部にかけて細い白色の縦線があることが特徴。②雌雄ともに肛門腺が発達していて、行動範囲には匂いのついた排便をし、タヌキのように「タメ糞」をします。

対策

【被害防止のためのポイント】

ねぐらを作らせない！

ハクビシンはエサ場の近くにねぐらを作ります。頻繁に被害を受ける周辺の建物で天井裏や壁のすき間など侵入口がないか点検しましょう。

※屋根裏や床下などで住みついている場合は、捕獲の専門業者に依頼してください。